

【グループ目標】

5領域 (1)健康・生活 (2)運動・感覚 (3)人間関係・社会性 (4)言語・コミュニケーション (5)認知・行動

- ① 事前に提示されたルールを守って、集団生活を送ることができる。(1) (3)
- ② 自分に合った方法を選択しながら、学習する姿勢を身に付けることができる。(2) (5)
- ③ 場面や状況に適した声かけや話し方を学び、実践することができる。(3) (4)

【目標の具現化】

①

家庭や学校とは異なるコミュニティのひとつとして、安心して自分らしく過ごせる場所となることを目指していく。安全に過ごすためのルールや整理整頓の仕方をわかりやすく伝え、子どもたち自身が自発的に行動しながら、お互いに心地よく活動できる環境づくりができるように促していく。

②

低学年が多いため、一定時間宿題や課題に取り組む力を育てていく。前向きな姿勢で取り組めるよう、子どもたち自身が自分にあった方法や環境を選択できるよう支援していく。ひとりひとりの学習面でのニーズに沿った支援が行えるよう、教材や使用するツールを検討し、「できた」という達成感を積んでいけるように工夫していく。

③

お互いに気持ちよくかかわることができるように、かかわり方や言葉の使い方を学べる機会を設定していく。休み時間等も含め、様々な相手とかわることができるようにグループビンゴ等の工夫を行っていく。現在の行動の背景にある子どもの気持ちや状況とともに理解し、お互いに相手の立場に立って考えることができるように支援していく。

【活動日課・活動内容】

平日

15：40～ はじめの会  
 16：00～ 学習①  
 16：30～ 学習②  
 ・グループ活動  
 ・SST  
 ・運動  
 17：00～ 選択活動  
 17：15～ 片付け・荷物整理  
 17：20～ 終わりの会

学校休業日

10：00～ はじめの会  
 10：10～ 学習①  
 10：50～ 学習②  
 11：30～ 昼食・休憩  
 13：00～ 主活動  
 14：30～ 片付け・荷物整理  
 14：45～ 選択活動  
 15：20～ 終わりの会

長期休業日

- ・事業所外学習を定期的実施し、公共の場でのマナー等、社会性を育んだり、普段経験できないような経験を積んだりする。
- ・他グループの友達とかわる機会を設定し、いろいろな友達とかわることができるようにする。
- ・インクルージョンの視点から、地域交流等のかかわりを取り入れる。

平日は学習を中心に実施し、学校休業日は学習+様々な経験ができるような体験的な学習を行っていく。

【指導員の評価の観点】

- ルールを明確に伝え、視覚的にも分かりやすく示し、統一した支援を行うことができたか。
- 学習する時間を明確に示し、教材や取り組む方法を子どもたちが主体的に選択できる環境設定をすることができたか。
- 子どもたちの行動の背景にある気持ちを理解し、子ども自身がお互いを尊重した方法で相手にわかりやすく伝えられるように代弁するなど、支援することができたか。